



新学期が始まりました。

新しい気持ちで頑張りましょう！

## 進路実現に向けて

新学期が始まりましたが、新型コロナウイルスの影響で学校での授業が思うようにできない状況にあります。今後も休校があり、自宅待機の時間が大きく増えます。家庭での学習時間や学習内容を検討し、有意義な時間を過ごせるようにしてください。

4月当初に生徒指導部が行った臨時休校・春休み中の生活環境アンケート（2・3年）では、下記の結果が出ています。

	とても当てはまる	当てはまる	どちらともいえない	当てはまらない	全く当てはまらない
学習時間が増えた	6人	17	29	18	12
読書の時間が増えた	4人	22	19	18	19
スマホ等の時間が増えた	39人	34	7	2	0

約3割の生徒が、学習や読書の時間が増えたと思っています。今後も学習時間が増えた生徒が多くなることを期待しています。また、学習時間の量を増やすとともに学習内容の質的向上を目指していきましょう。読書は本の内容を疑似体験したような状態になることで、想像力が鍛えられ、関心や興味の幅が広がります。少しの時間でもいいですから、毎日読書をする習慣を身につけましょう。

スマートフォン・タブレット・パソコンを使用する時間が増えたと認識している生徒がほとんどですが、調べ学習の補助としての使用や進路希望先について情報を得るなど、自分の進路希望を実現するために有効に使えたか確認してみましょう。進路希望実現や進路目標の設定のためにも次のようなことを頑張ってください。

### 自己理解（興味や関心・適性）を深めましょう。

- ・自分の得意なこと、続けられることを考える。（CAN）
- ・自分が意志をもってやってみたいことを考える（WILL）
- ・大きな価値を見出し、取り組めることを考える（MUST）

### 職業や学問への視野を広げましょう。

- ・雑誌やインターネットで職業の種類や学問の分野を調べる。
- ・興味のある職業で求められる知識や能力を調べる。
- ・自分が関心を持っている社会問題や仕事と学びたい学問の関わりを考える。

## 評定平均と学習成績概評

本校では毎年、ほとんどの生徒が推薦入試で大学や専門学校へ進学していますが、「評定平均」はこの推薦入試の出願条件でよく使われています。評定平均の求め方を紹介したいと思います。

### （1）評定とは

「評定」とは各教科の成績を5段階で表したもののことです。通知票の確認簿で評定の5段階を知ることができます。評定の根拠となる成績は、定期テストの点数などから算出されます。評定1では、単位の取得を認めら

れません。

<b>5</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
<b>100～80</b>	<b>79～65</b>	<b>64～45</b>	<b>44～30</b>	<b>29以下</b>

## (2) 評定平均の求め方

高校で履修した全科目の評定を合計し、その科目数で割るだけです。小数第二位を四捨五入して小数第一位まで求めるので、「4.3」とか「4.5」といった数字で表されます。注意すべき点は、高3だけの評定ではなく高1から高3までの履修したすべての科目が対象となります。2学期には就職試験、推薦入試が行われるので、3年の1学期までの成績を扱うことになります。

$$\text{評定平均} = \frac{\text{1年～3年1学期までの「全教科・科目の評定の合計」}}{\text{すべての科目数}}$$

現在の3年生の教育課程で仮の成績で評定平均を出してみると、1年次は、選択科目もないので全員12科目です。下の表のような評定だと、1年次の評定平均は、全科目の評定の合計(43)÷すべての科目数(12) = 3.583333...と、なり、小数第二位を四捨五入して3.6になります。

教科	国語	公民	数学		理科		体育	保健	芸術	英語		家庭
科目	国語総合	現代社会	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	C英Ⅰ	英表Ⅰ	家庭総合
評定	4	4	3	3	3	3	5	4	4	4	3	3

次に理系の科目を選択したと仮定しての2年次の評定は、評定の合計は、50になります。科目数は12です。

教科	国語		地歴		数学		理科		体育	保健	英語	情報
科目	現代文B	古典A	世界史A	日本史B	数学Ⅱ	数学B	物理	化学基礎	体育	保健	C英Ⅱ	社会情報
評定	4	3	3	4	5	5	4	5	4	4	4	5

これで2年次が終わった時点での全体の評定合計は、1年次の評定合計(43) + 2年次の評定合計(50) = 1～2年次の評定の合計(93)になります。

1～2年次までの評定平均は、 $93 \div (12 + 12) = 3.875$ で小数第2位を四捨五入して3.9になります。1年次からみると0.3しか評定平均は上がっていません。評定平均は思ったよりも上がりにくいという事に気がつくかもしれません。評定を少しでも上げられるように、また高い評定を維持できるよう1年次から授業や家庭学習に集中して取り組んでいきましょう！

## (3) 学習成績概評について

学業成績は、調査書に「全体の学習成績の状況」、「学習成績概評」として記載されています。「全体の学習成績の状況」とは、評定平均のことです。「学習成績概評」は「全体の学習成績の状況」(=評定平均)に応じて区分されているものです。

学習成績概評	A	B	C	D	E
全体の学習成績の状況	5.0～4.3	4.2～3.5	3.4～2.7	2.6～1.9	1.8以下

国立大学では、推薦基準として「全体の学習成績の状況」が4.0以上、または学習成績概評がA段階以上の大学が目立ちます。自分の志望する大学・学部、専門学校の前年度の推薦基準を調べましょう。また、推薦基準を越えたからといって志望校に必ず合格するわけではないので、進路実現のために高い目標をもって、勉強や学校生活を頑張りましょう。